

演題2. 口腔粘膜欠損創に対するポリグリコール酸膜 (PGA 膜) およびフィブリン糊の使用に関する検討

○羽田 朋弘, 古城慎太郎, 松本 誠,
阿部 亮輔, 川村 貴史, 八木 正篤,
水城 春美

岩手医科大学歯学部口腔外科学講座
顎口腔外科学分野

口腔外科領域における広範囲な粘膜欠損に対して, 従来は腹部からの皮膚移植や人工真皮(テルダームス®)を用いた被覆がおこなわれてきた。一方, ポリグリコール酸吸収性組織補強材(ネオベール®)とフィブリン糊(ボルヒール®)の併用は縫合部の補強や漏出の防止に用いられ, 一般外科においては肺手術時の肺瘻閉鎖や, 腹部におけるリンパ液瘻孔や胆汁漏出の防止など, 広く応用されている。当科では2010年より扁平上皮癌8症例において, 粘膜欠損部位に対しネオベール®およびボルヒール®を用いた。いずれの症例においても創部の感染等は認めず, 早期の経口摂取が可能であり予後は良好であった。今回われわれは若干の考察を加え, これらの症例について報告する。今後は創部の機能障害や, 従来の治療法との機能的な比較などの検討が必要であると考えられる。